

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和4年 2月28日

事業所名: 多機能型事業所 コーラル

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				10			1	広くて清潔で良い。十分だと思います。	
	2 職員の適切な配置	○			子どもの利用に合わせて職員の出動対応をしている。	10			1	PTさんが入ってくると嬉しいです。スタッフの方々、それぞれに得意分野で力を発揮されていると思います。	研修を受け専門性を高める。保育、看護師、OT、ST等の多職種連携を図りながら利用児へのかかわり方や活動内容等を検討していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			一人一人に合わせた設備の改善にはまだまだ課題がある。	9	1		1	細かい所まで注意を払って下さっています。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			工夫し努力しているが、まだまだこれから整備していく必要がある。	11				いつも綺麗に整理されています。	コロナ禍にあり、今後も最善の注意を払うよう努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○									
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○									第三者による外部評価は行っていないが、本自己評価を元に事業改善を行う。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			法人内での情報の共有がなされ、研修の機会も十分提供されていると思う。						オンラインの研修、職員間での研修等を通して専門性を高め、質の向上に努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			職員同士が課題等共有し話し合っ て進めている。 客観的に分析して進めていく事はこれからの課題である。	10		1		十分です。	ご家族と話す時間を確保しご家族との信頼関係を築くよう努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			職員同士が課題等共有し話し合っ て進めている。 客観的に分析して進めていく事はこれからの課題である。	11					
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			職員同士が課題等共有し話し合っ て進めている。 客観的に分析して進めていく事はこれからの課題である。						客観的に分析して進めていく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				10			1		利用児とかかわる中で、計画を確認して活動の実施に努める。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○									利用児とかかわる中で、計画を確認して活動の方法を検討し実施していくように努める。
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				11				楽しいプログラムを考えて下さっていると 思います。 季節の行事に合わせた「クッキングデー」には頭が下がります。	ご家族に対して、活動のねらいや意図、遊び方等を丁寧に説明する。
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○									
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○			最近確実に実施できるようになってきた。						
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○			勤務が複雑であるため、その日に行うことが難しい。そのため、次の日の朝にしている。						職員間で話し合い最善の方法を見つけ実施していく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○			まだまだ口頭伝達が多いので更に必要と感じている。						
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○									
関係機関との連携	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○			勤務が複雑なため、児発管が出席することが多い。事前に話し合いを行い、それぞれの専門分野からの情報をまとめて会議には持参している。						
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○			十分連携していく努力はされているが、連携をとりやすい所とそうでない所があり、まだ課題は残っていると思われる。					勤務体制や人数を調整して連携をしていけるように努める。	
関係機関との連携(続き)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○								勤務体制や人数を調整して連携をしていけるように努める。	
	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			コロナ禍で十分な行き来が難しく機会が少なくなっている。						
	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			今からの課題である。そのための準備を現在行っている所である。						
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			ケースを通じて一部行うことはあるが、全体としてはまだ行っていない。						
	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			計画はあったがコロナ禍の中、きょうだい・家族との一緒に活動も制限されている。	2	1	1	7		
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	○			計画はあったがコロナ禍の中、きょうだい・家族との一緒に活動も制限されている。						
	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				11					責任者から契約時に丁寧に説明する。
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				10					児童発達支援管理責任者から丁寧に説明する。
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			一つ一つの課題に対応して、保護者と対応策と一緒に考え育むことは十分行っているがまだ課題はある。	7	3		1	細かなご指導とかよく言って頂きありがたいです。	研修等を通して知識や技術を習得し支援に努める。	
保護者への説明	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○				10	1			いつも細かい所まで見て下さっていると感じます。	今後もご家族との情報交換を行い、利用児の支援に努める。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応に必要な助言の実施	○				11				よくアドバイスを頂き参考になります。	送迎時にご家族と話を伺う事に努める。ご家族との面談の時間を確保し話を伺うように努める。
	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	○			コロナの状況に応じて少人数での交流を検討している。	1	3	1	6		コロナの状況によるが、保護者同士の交流の機会を実施できるように計画していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
責任・連携支援（続き）	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○				4	1	1	5	全く問題などなく、ただ感謝です。伝え忘れや忘れ物が多いように感じる。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			子どもたちの様子を十分に伝え、子どもたちの代弁・仲介に努めている。	10	1			よく出来ていると思います。細かく気を配って下さり、連絡などよくいただきます。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○				8	2		1	家族がよくホームページを見ており、楽しそうに活動している姿に安心しているようです。	今後も利用児やご家族により良い情報提供ができるように努める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○				10	1				個人情報には十分に注意を払い対応していく。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○			職員に周知しているが、繰り返し周知が必要かもしれない。その上で保護者へも具体的なものが必要となる。	9	2				
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○			行っているが、回数を定期的に増やしていく必要がある。	6	1		4		ご家族に対して、非常災害時の対応についての説明を行う。避難訓練を全ての利用児に用意する。
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○									研修に参加し、全職員に伝える。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載			○	一人一人のケースに対する対応を伝える事は出来ているが、組織的に行うことはまだ不十分。共通意識の向上が必要である。						組織的に取り組む。必要に応じて支援計画に記載を行う。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○									
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			必ず報告し共有しているが、文章として残し見直していく事が必要である。						